

はりらんタイムズ 2014/10月号外

いつもボードゲーム会に遊びに来てくださっている酢豚さん達が同人ゲームを製作されました。お絵かきパーティーゲーム「4コマ妖精」と拡大生産+バッティング風味なファンタジー? 「Mak ai」です。「4コマ妖精」は、その名の通り4コマを作っていく大喜利系でわいわい楽しく遊べるパーティーゲームです。

今回は「Mak ai」を作者の酢豚さんに紹介していただきました。実際にそのゲームをプレイし、何度遊んでも飽きない面白いゲームだと思いました。制作サイドの話も書いていただき大変興味深い内容になっております。

同人ボードゲーム「MAKAI」

2~4人用、所要時間40~60分

製作：豚小屋



同人ゲーム「MAKAI」の企画作成させて頂きました同人ボードゲームサークル「豚小屋」の酢豚でございます。

今回、この作品の紹介文を作者自らが紹介するという、何だか恥ずかしい状況ですが有り難くもせっかくご用意していただいた紹介の機会、恥ずかしながら内容を説明させていただきます。

企画当初ゲームシステムのテーマは「拡大生産」だったんですが調整していく中で気がついたら「プロット拡大生産風」になってました。

プロットゲームの良い所は手番の優劣が無く、スタート時のプレイヤーが平等であるという点にあると考えています。

ダイスによる運の要素もあるのですがそこはゲームの揺らぎとして必要な要素だと思いました。

世界背景は魔界で各々プレイヤーが魔族となり、魔界で権力を拡大し魔王になる者を決めるという感じなんです。

RPGの世界観が大好きな私としてはここは外せませんでした。

ゴブリンやドラゴンを出さずして何を出すと言う話です。

ゲームの流れをざっくりと説明すると

- ①手持ちのダイス1この出目を各々こっそり決める。
- ②全員一斉にオープンして、対応する出目のアクションを1→6の順番で処理していく。
- ③1~6のアクションには資源を得るものや、強力な様々な能力を持ったカードを手札に加えたり、場に出したりするアクション等がある。
- ④6のアクションの後、場に出ているカードの能力を使うなら使って、共通のカード列から最後のカードを1枚捨て札置き場に送りラウンド終了。
- ⑤ゲームの終了条件は山札のカードが引けなくなったらそのラウンドの最後までプレイして終わりとなる。その後得点計算をして勝利点の高いプレイヤーが勝者となる。

と、まあこんな感じです。

細かいルールなどはあるんですがここでは省きます。極端な話毎ラウンド1アクションプロットするというイメージです。



そしてこのゲームのギミックで重要なのがバッティング。

他人、もしくは非プレイヤーのダミーダイスとアクションがバッティングしてしまった場合、バッティングしたプレイヤー分だけ任意の資源を減らしてからアクションを行わなければなりません。



はりらんタイムズ 2014/10月号外

任意の資源を払いたくない場合にはパスも出来ます。このゲームはカードを場に出して色々するゲームなんです。それを出すにはカード毎に記されたコストを支払って場に出さなければなりません。ちなみにコスト設定は結構シビアに設定しました。ボードゲームを四六時中やってると不思議な話でドン辛いゲームが快感になってきます。「悩むゲームは良いゲーム」というのが私の中にある格言なのでそれを出来るだけ体現したかったというのが本音でした。その中でバッティングしてしまえば資源を余分に支払わなければいけないんですから、アクション選択は結構ピリピリしたやり取りを味わえるんじゃないかなと思います。

いろいろな方にプレイしていただき「面白かったよ」とか「結構いいんじゃない？」というご意見を頂き嬉しい気持ちでいっぱいです。ガチゲーマーの方々にも調整にガッツリ参加していただいた甲斐がありまして、コアな方でも楽しめる内容となっております。またアートワークの方も「へちよ絵いいね」というご意見ご感想頂きました。時間が無かったと言うのもありますが、あれはあれで気に入ってたりします。



酢豚家で1つ1つ手作りの為作った数は少ないですが、もしプレイする機会、購入する機会がございましたら楽しんでいただけたらと思う次第でございます。

兵庫県内のボードゲームショップでも少数ではありますが取り扱って頂く事になっており、三ノ宮「トリックプレイ」さんでは実際にゲームをプレイすることも可能です。あり難い話で生産分がほぼはけてしまったので再生産の声が多ければ、またいつか作ろうと思いますのでその時はまたよろしく願いいたします。



最後に、このゲームの作成に携わって頂いた多くの方々、購入していただいた皆様、重ね重ねありがとうございます。来年のゲームマーケット大阪に新しいゲームを出せるよう頑張りますので、ご支援ご協力の程をよろしく願いいたします。

文：酢豚



「MAKAI」からゴブリンママとネクロマンサー